

営農情報

第97号 平成23年9月12日発行

大豆防除情報

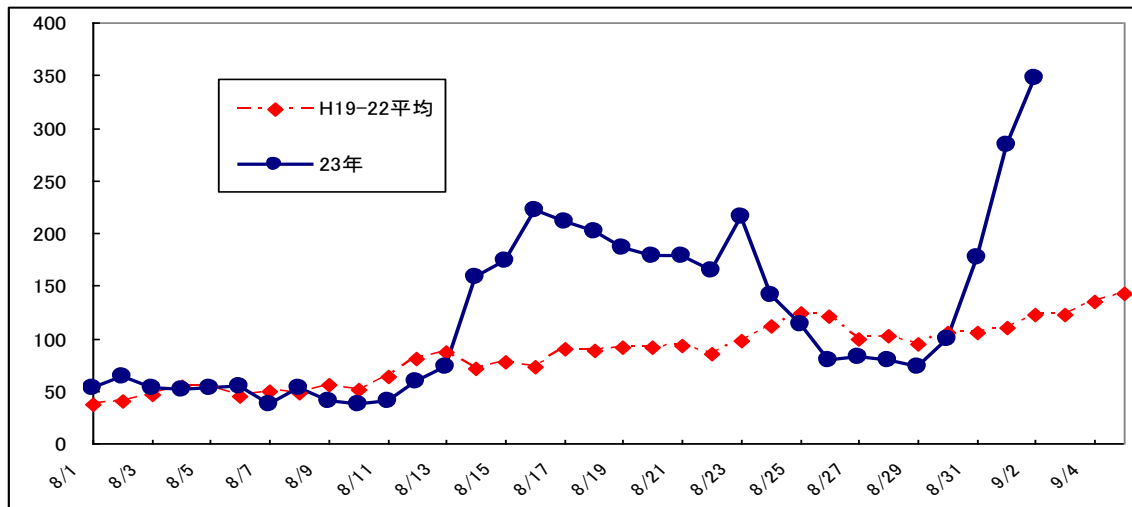
福岡大城農業協同組合
筑後農林事務所南筑後普及指導センター

1 2回目の防除について

フェロモントラップ調査によるハスモンヨトウ成虫の誘殺数は、過去の平均よりも多くなっています（グラフ参照）。今後の発生も、多い状況が続くと考えられますので、注意をしてください。

2回目の防除適期は9月13～17日と予想されます。

（参考）フェロモントラップ誘殺数（H23年度 南筑後普及指導センター管内）



2 防除薬剤

薬剤名 (希釈倍率)	対象病害虫	使用回数	1000 あたり農薬使用量
プレバソンプロアブル5 (4000倍)	ハスモンヨトウ	3回以内	25ml

※散布量は10aあたり100～300リットルです。

※1回目の防除と2回目の防除は、2週間程度間を空けて散布します。

※カメムシ及び紫斑病対策がまだの方は、下記農薬を混用してください。

薬剤名 (希釈倍率)	対象病害虫	使用回数	1000 あたり農薬使用量
キラップフロアブル (2000倍)	カメムシ類	2回以内	50ml
トップジンM水和剤 (1000～1500倍)	紫斑病	4回以内	70～100ml

3 今後の管理

- (1) ほ場内の雑草は、汚損粒やカメムシ被害の原因になります。早めに必ず取り除きましょう。
- (2) 大豆青立ち株も汚損粒の原因になるので、収穫前に取り除きましょう。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！